

電池による事故

事故の概要

【事例①】携帯電話機から取り外していた電池パックが発火して爆発し、3mほど飛んでベッドとクッションが焦げた。

【事例②】電池を10個ほど入れていた巾着袋をテーブルに置いたら、ボンという音がして煙が出て、袋が焦げた。

事故の原因

【事例①】膨らんできた電池パックを机にぶつけてへこまそうとしていました。圧力により内部でショートして異常発熱し、電解液等が急激に膨張して発火したものです。

【NITEの再現実験】



アルカリ乾電池とボタン電池の電極を接触させると、ショートして発火しました



【事例②】買い置きボタン電池の包装をはがして複数の電池と同じ袋に入れていたため、他の電池の金属外郭を通じてショートし、内圧が上がって破裂したものです。



事故防止のために

- ◆電池を落とすなど圧力が加わると、電池内部でショートして破裂し、発火の原因となります。
- ◆電池を保管するときは、他の電池や金属製のものと接触させないでください。ショートするなど危険です
- ◆電極は正しい方向に装てんしてください。逆装てんをすると、内圧が上昇して液漏れします。漏れた液に触れた時はすぐに水で洗い流し、医師に相談してください。
- ◆新旧の電池を混ぜて使うと過放電を引き起こし液漏れします。交換時はすべて新しいものにしてください。

